



第2回情報発信部会（令和2年11月9日開催）

資料

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応	担当
1	上村委員	【人権尊重のまちづくり】 ・当初の目標は人権を考える区民のつどいと人権講座のアンケート結果で設定しているが、人権を考える区民のつどいが2回とも開催できないので、人権講座のアンケート結果が目標値に達していれば達成となるのか。	[荻谷市民協働課長] ・区民のつどいは新型コロナウイルス感染症の影響で実施できないが、人権講座は広い会場で人数制限のうえ実施し、そのアンケート結果で判断する。人権講座の参加人数は区内行政機関等向けは50～70人、市民向けは20～30人程度の受講者を想定している。	・人権講座は、行政機関等向けを1回、市民向けを2回開催予定であり、そのアンケート結果をもとに、目標達成について判断してまいりたい。	市民協働課 (人権)
2	上村委員	【地域コミュニティ支援事業】 ・地域活動協議会に関する情報を区ホームページやフェイスブックで発信されているが、区のホームページから地域活動協議会のを探すのに苦労したので、わかりやすいところへ掲載してはどうか。また、地域活動協議会のカテゴリの中でも「地域活動協議会とは」のページが一番後ろになっているので、前に出してみてもどうか。	[荻谷市民協働課長] ・区ホームページの掲載方法を検討して、より一層見やすくなるよう改善してまいりたい。	・いただいたご意見を踏まえ、区ホームページのトップ画面にバナーリンクを設置して、地域活動協議会に関するページへ直接遷移できるように調整し、11月下旬に実施した。また、あわせて地域活動協議会のカテゴリの中における「地域活動協議会とは」の掲載順位の改善も行った。	市民協働課 (地域活動)
3	村井議長	【地域コミュニティ支援事業】 ・ホームページへの入り方がわからないと、どこへ行けばいいかわからなくなるので、見ていただく方にわかりやすいようにするのは大切なことだと思う。			
4	白石委員	【西成区魅力発信事業】 ・大阪フィルハーモニー交響楽団の出前授業は、楽団としても積極的に前向きに取り組みたいと考えている。この事業をきっかけに、子どもが楽器や音楽に触れることで、羽ばたいていけると嬉しい。2年間の事業であるが、大阪フィルハーモニー協会としても最大限協力するので、更に展開するような事を考えてほしい。	[鶴見広聴広報担当課長代理] ・出前授業は、子ども達に文化芸術を伝える事業として平成30年度からスタートし、平成30年度、31年度の2年間で区内の全小中学校に楽団員と事務員が出前して、楽器の説明や本格的な演奏を届け、子ども達や先生に大変喜んでいただいて、職業を選ぶ際の参考になるという感想もいただいた。是非続けてほしいという声をいただき、大フィルの積極的なご協力で更に今年度、来年度の2年間実施する事は決まっている。その先の展開も前向きに検討してまいりたい。	・出前授業については、令和3年度までは実施予定としている。令和4年度以降についても、子ども達に文化芸術を伝える事業を継続できるよう、今後検討してまいりたい。	総務課 (総合企画)

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応	担当
5	白石委員	<p>【緑化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長居公園では、市内の65歳以上が無料で入園できることもあり、入園者の7割以上は高齢者が利用されている。春や秋は子どもは遠足で訪れている。西成区の緑化推進事業もボランティア育成の次のステップとして、高齢者や子どもが花を見て楽しむ取り組みを検討していただきたい。 	<p>【苅谷市民協働課長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化推進事業は地域活動に関わっていただくことを目的として実施している。ボランティアの人数も一度減ってきたが、講座やチラシをホームページに掲載するなどして増えてきている。育てた花を保育所に配るなど、地域との連携を深めている。それをさらに広げて、まちづくりの次の大きなステップとして念頭に入れて進めてまいりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年大阪マラソンの際には、なにわ筋のプランターにマリゴールドを植えこみ、また庁前広場をハンギングバスケットで飾りつけるなど、美しい彩りで西成のまちをアピールして好評を得た。次のステップとして、緑化ボランティアによる花づくりを通じた地域活動のみならず、テーマを決めて、美しいまちづくりに繋がるような事業の展開を検討してまいりたい。 	市民協働課 (緑化)
6	白石委員	<p>【空家等対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を増やさないために解体も目標項目に立てていると思うが、東住吉区ではリノベーションを通じた空家活用のまちづくりを実施しており、区内のあちこちで取り組まれている。新今宮では前向きで積極的な取り組みがみられるが、西成区全体で空き家が多い事を踏まえて、空き家を活用したまちづくりの観点から取り組みができないか。他区の事例を研究して、地域とともに前に進めてほしい。 	<p>【鈴木地域支援担当課長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用は大きな課題となっている。現在、西成区では、どう安全な状況にするかというところに重点を置いてやっており、活用の検討には至っていない。今後、活用にも重点を置いて進めてまいりたい。空き家の利活用を補助する制度がいくつかあるので、広報に努めて対応していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西成区の対策としては、管理されていない危険な物件に対して危険な箇所を取り除き安全な状態にすることを優先している。 ・空き家等の利活用については、不動産等に関する団体と連携し、所有者や相続人に対して相談窓口の周知及び空き家等の利活用補助制度など随時情報提供をしていく。 ・その他に、不動産関係団体による空き家等を含めた不動産相談を実施しており、区広報紙6月号には「空家利活用改修補助事業」、10月号では「空き家について考えてみませんか?」の啓発記事を掲載している。これらの記事については区ホームページにも掲載しており、引き続き啓発に努める。また、空き家等を活用したまちづくりについては、西成特区構想の取り組み等において今後検討を行う。 	市民協働課 (空家対策)
7	白石委員	<p>【防犯対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察と連携する取り組みは良いこと。以前、交番の警察官に一声かけるなど、日常的な関係づくりが住民の安全確保において大切と警察署長から聞いたことがある。効果的な事業に繋がるよう、日常的な関係づくりをしてほしい。 	<p>【鈴木地域支援担当課長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察と連携をして、防犯教室で小学校や保育所等を回っており、青色防犯パトロールの際に子どもから声掛けがあったり、青バトを見ると防犯教室を思い出してもらえるような取り組みを進めている。日常的な関係づくりが出来るよう進めてまいりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所と警察署の連携については、「ひたつきり防止」「特殊詐欺」「放置自転車対策」など様々な案件に対して、関係部署と情報交換を行いつつ取り組みを進めている。例えば、西成区内で特殊詐欺の事件が発生した場合、防犯担当へ特殊詐欺の電話が「どのような内容でどの地域で起こったか」の連絡が入り、青色防犯パトロールで特殊詐欺の電話があった地域の周辺を重点的に注意喚起しながらパトロールを強化を行ったり、防犯の啓発活動においても警察と協議しつつ様々な工夫考え取り組みを進めている。 ・区内小学校や保育所等で行っている防犯・交通安全教室では、区役所職員と警察官とが寸劇を行っており、それ見た子どもたちから青色防犯パトロールの際に手を振られたり、声をかけられたりと、この取り組みを通じて区職員や警察官と子どもとの距離が近くなっていると実感している。子どもたちが家に帰る際、青バトを見かけたときには教室で学んだ防犯・交通安全に対する意識を思い出してもらえればと考えている。 ・今後とも西成警察署と連携し「安心で安全な西成のまち」に向けて取り組みを進めていく。 	市民協働課 (防犯)

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応	担当
8	上村委員	<p>【西成区魅力発信事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西成しごと博物館は、子どもが熱心に取り組んでいて、すごい取り組みだと思う。プレーパーク事業では、区外からの参加者が気に入って西成区に引っ越してきた方もおられたと区政会議で報告があったので、しごと博物館も繋がるのではないと思う。若い方に西成の理解を深めてもらい、西成に来てもらえるように、ぜひ区外にも発信してほしい。 	<p>【鶴見広聴広報担当課長代理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年は企業訪問型で、事前申し込み制、区民向けに実施したが、今年は広い場所に企業が集合して実施した。区民でなくても近隣の子どもたちにも来ていただいて、実際に見ていただいて、区内の企業の発見や、区内の就職に繋がればと企画した。区外に発信することも心掛けながら、中小企業家同友会と連携して来年以降も実施していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西成しごと博物館については、参加企業のコメントや参加者の感想などを区広報紙2月号で特集ページとして掲載を予定している。また、区ホームページでも当日の写真などを掲載して発信を予定している。来年度以降も中小企業家同友会と連携して開催をめざし、区内外から参加していただけるよう、情報発信をしていきたい。 	総務課 (総合企画)
9	村井議長	<p>【アンケートの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは、イベントなどの参加者アンケートをベースにしているが、SNSでアンケートを取るという方向性はあるか。 	<p>【鶴見広聴広報担当課長代理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどの参加者アンケート以外には、無作為抽出による郵送の区民アンケートを行っている。SNSアンケートについては、昨年度お試しでツイッターで行い、今年度も実施を予定している。昨年度の回答は数十件で、若い方にも見ていただけるように工夫していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、試験的に実施したツイッターでのアンケートでは、76名から回答があり、30歳未満が30%、30歳から50歳が47%と若い世代からの回答が多くあった。一方、区民アンケートは回答者の約75%が50歳以上となっている。幅広い年齢層からの回答が得られるよう、今後は紙でのアンケートに加えて、SNS等でのアンケートも実施していきたい。 	総務課 (総合企画)
10	村井議長	<p>【空家等対策推進事業・西成特区構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西成区には若い人に来てもらいたいので、空き家活用や相談会の情報が若い人に届いているか、若い人向けに加工されているかが気になっている。今は動画配信がトレンドになっていて、若い人がよく観ている。 ・すぐにできることではないかもしれないが、空き家がある事だけではなく、若い人が魅力を感じるように情報を組み立てた方がいいと思う。 	<p>【鈴木地域支援担当課長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西成区域に若い人にどう来てもらうか、入居のハードルをどう下げられるかは大きな課題と考えている。住んでもらう観点で、一時居住も含めて実現性を検討している。空き家情報の発信については、他都市等では空家バンクと連携している事例も聞いている。市の空き家等対策協議会と連携している不動産団体があり、新たな情報の発信方法も検討しているので、そうした内容も参考にしながら考えてまいりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者や子育て世帯の居住に向けた対応は、西成特区構想の取り組み等において今後検討を進める。 ・空き家活用や相談会の情報発信については、連携する不動産団体の新たな取り組みや、他所属等の取り組みを情報収集し、検討する。 	市民協働課 (空家対策)